

# 景観まちづくり瓦版

3号  
令和5年  
7月発行

この瓦版は、御前崎市の景観を維持・創出していく様子を、市民の皆様にお伝えするものです。景観まちづくりは、景観形成活動を通じて「住民などが暮らしやすく、訪れたいまちづくり」を行うことで地域経済・活力の向上を目指し、さらに「御前崎市を未来の子供たちに残す」大事な取り組みです。



令和3年度から御前崎市全域を対象とした景観計画の検討を進め、令和5年度からは特に良好な景観形成を進める重点地区計画を検討しております。令和6年度末を目途に全ての計画を策定し、景観まちづくりを推進していきます。ぜひご覧ください。

## 事業のメンバー紹介(役割)

**市民事業者** 普段感じている御前崎ならではの豊かな景観を維持・向上させるため、景観まちづくりに参加します。

**御前崎市** 市の代表として、日々感じている景観について考え、計画策定や推進に取り組みます。

**岡田教授** 5年前から御前崎市の事業に従事しています。景観の専門的知識を有するアドバイザーです。

## 令和5年度は、重点地区計画の策定を目指し、5月31日に以下を目的とした第1回重点地区ワークショップを開催しました！

- 1 御前崎市景観計画の目的と使い方について知ろう！
- 2 重点地区の目的と、各地区の狙いについて知ろう！
- 3 各地区の景観の現況、目標について考えよう！

### 昨年のワークショップと何が違うの？

▶ 昨年は、「**景観と観光の両輪で地域経済や地域の活力向上を目指す**」ことを狙いとした、「**市域全体を対象とする景観計画策定**」のためにワークショップを開催しました。



▶ 重点地区ワークショップは、景観計画を作るだけで終わらず、重点地区内の良好な景観資源を活用しつつ、市民等のみなさまと共に、「**具体的なアクションに繋がっていくことを目的**」とした取り組みです。

### 重点地区って何？



▶ 景観法に基づく景観計画区域のうち、「**特に良好な景観形成に取り組む地区**」のことを指します。重点地区では、景観法に基づき、より詳細かつ厳格な基準（景観形成基準）の設定・誘導や、市民・事業者・行政協働の取り組みを推進していきます。

※ 他市町では、地域の「拠り所」や「顔となる場所」などの重点的な景観施策の推進が必要な区域を指定し、その目的は「歴史的景観、眺望景観、都市的景観、住宅地景観や生活景、自然景観の保全・形成」など様々です。

### どこを指定したの？

昨年のワークショップ等で、御前崎の景観の良さは「海も山も両方ある豊かさ」であることが把握できたことや、市民アンケート等での要望を踏まえて、以下の地区を指定します。



▶ **海**  
御前崎地区

(御前崎灯台や御前崎海岸・御前崎港からなる景観)



▶ **山**  
朝比奈地区

あらさわふる里公園や周辺の茶園景観からなる景観



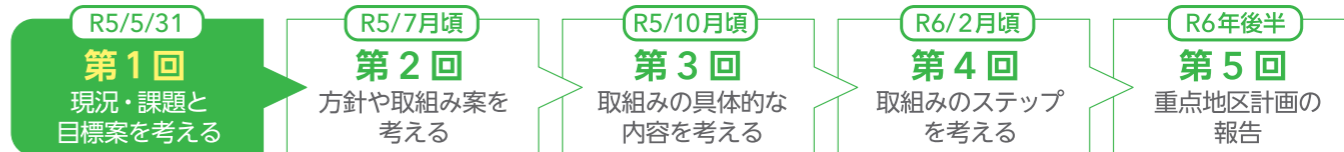
※ 2地区以外についても必要性や市民意識等を勘案して、段階的に「重点地区」を広げていき、成長していく景観計画を展開していきます。

裏面に続く

### 今回は何をしたの？



「**それぞれの地区の現況・課題を把握**」するため、好きな景観・改善したい景観と、地区別の目標について有志の方々と共に「**意見交換を行いました。**」



御前崎地区(北)



#### 目標案

**インスタスポット目白押し！いっぱい回って、いっぱい食べて、いっぱい遊んで！そして疲れて泊まって癒されて！**

#### 好きな景観・改善したい景観

- ケープパーク、灯台、港、御前崎マリナーパーク、エコパーク、晴れとsora cafe、寺坂・港坂等からの眺望など良好な景観がたくさん。
- 夜が暗いことが問題。朝日や昼間の海、夜のライトアップなどで岬の24時間を楽しく過ごしてもらいたい。
- 地元も頑張り、行政と一緒に取り組むことが大事。等

#### 目標案

- **自然保護と観光が共存する御前崎海岸** (尾高から灯台までの自然公園区域内の景観は100年先まで残す！)
- **お客様と一緒に海岸を綺麗に！**

#### 好きな景観・改善したい景観

- 尾高からの海や灯台等の眺めは素晴らしい。
- 御前崎でしか見れない & 地元しかわからない素晴らしい景観を守り、観光に繋げていきたい。
- 御前崎地区には良好な景観がたくさんあるが、ゴミ等で景観が阻害されているため、みんなで綺麗にしていきたい。等



御前崎地区(南)

朝比奈地区



#### 目標案

**山、海、茶畑、田園が一望でき、鳥のさえずりや多様な生物とふれあえる豊かな自然と一体感が楽しめる風景。それを後世に引き継ぐ。**

#### 好きな景観・改善したい景観

- 年間15万人もの来場がある「あらさわふる里公園」とそこからの山、海、茶畑、田園等の眺望が良い。
- 荒れた農地や目立つ色の建物等があるため、いかにこれからも良い景観を管理者や地域で維持していくかが課題。等

### 岡田教授コメント



2地区の結果を併せて考えると、  
▶ 『**自然ばかりでなく、人工ばかりでもない、両者のバランスがある**』こと、またそれらを『**後世に引き継いでいこう**』という、これからの行動の覚悟を感じ、参加者みなさまの地域に対する思いや文化性が高いことがわかりました。これからみなさまとワンチームで取り組むにあたり、良いスタートが切ることができました。

